
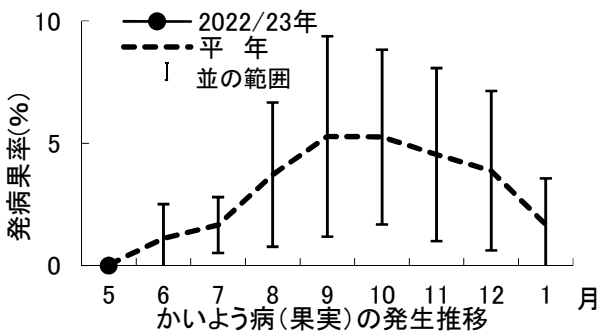


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
		6 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

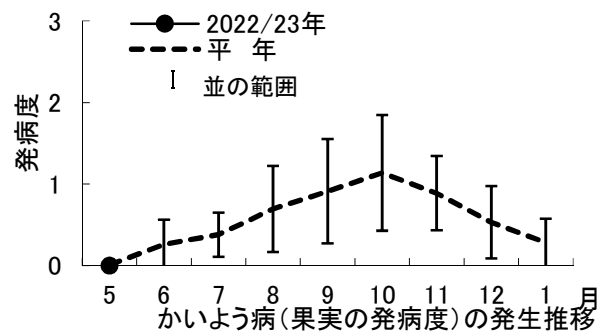
調査結果

(発病果率：今期と平年の推)

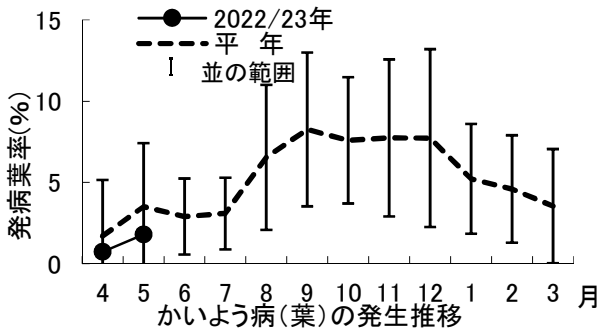


・ 発生ほ場率：80.0% (平年65.1%)

(果実の発病度：今期と平年の推移)

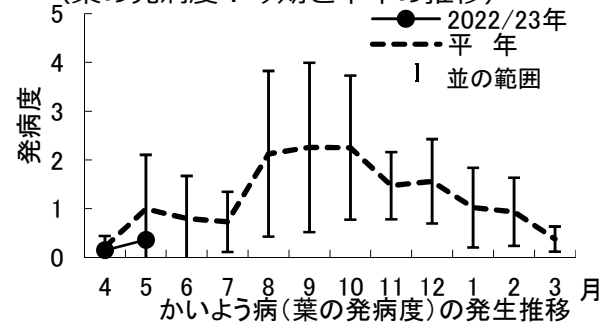


(発病葉率：今期と平年の推移)



・ 発生ほ場率：80.0% (平年87.5%)

(葉の発病度：今期と平年の推移)




防除のポイント

- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となる。
- ・ 台風による葉や枝の傷口 (風傷)、ミカンハモグリガの食害痕から本病が侵入する。
- ・ 台風前後に薬剤による予防散布およびミカンハモグリガの防除を徹底する。

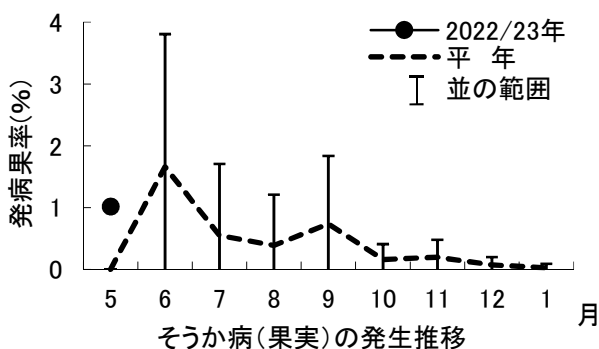


被害葉→

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	多	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
	6 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗) 一部ほ場で発生がみられた	

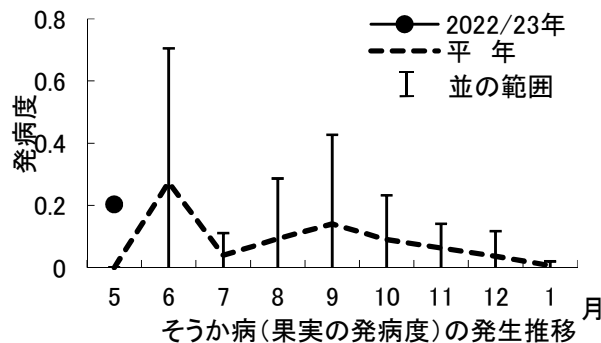
調査結果

(発病果率：今期と平年の推)

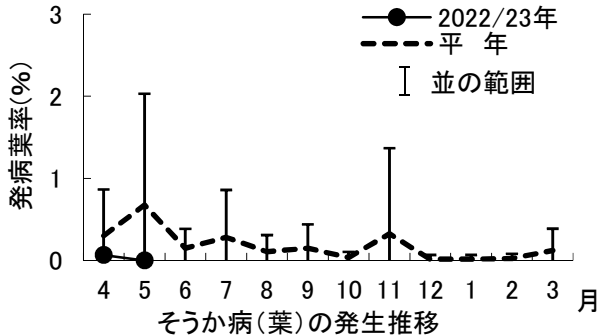


・発生ほ場率20.0% (平年0.0%)

(果実の発病度：今期と平年の推移)

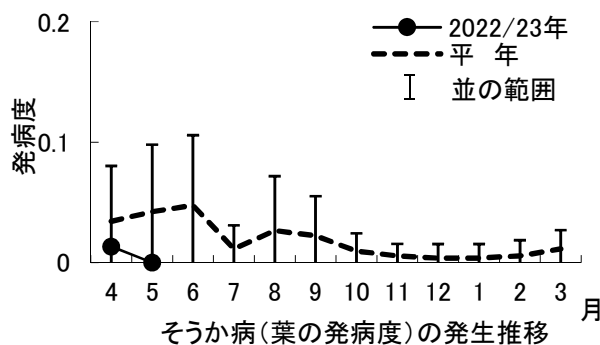


(発病葉率：今期と平年の推移)



・発生ほ場率0.0% (平年25.6%)

(葉の発病度：今期と平年の推移)




防除のポイント

- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

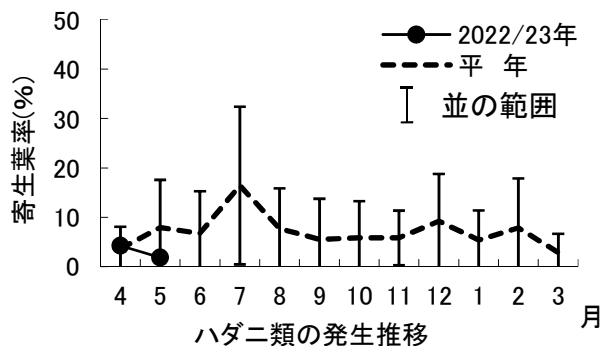
被害葉→



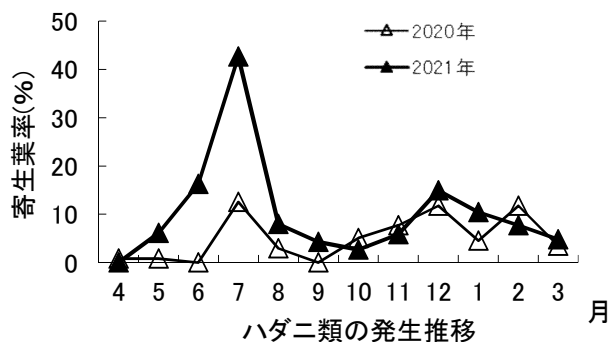
作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並	
予報	5 月からの増減傾向	↓	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果

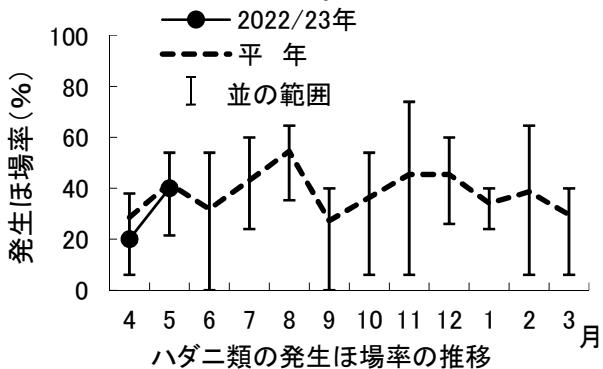
(今期と平年の推移)



(過去2年間の推移)



(発生ほ場率の推移)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状